

大学名 北海道大学

表題 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」のプレ・ポストアワード支援

プレアワード支援

- 本部URA3名が、水産科学研究所・函館市等と構想案・申請書・ヒアリング資料を作成し採択となった。
- 特に、URAが中心となり、本事業の核となる地域水産業共創センターの構想、および函館市の主要産業である水産業を持続的に発展させるため、地域カーボンニュートラル（RCN）養殖産業において即戦力となる専門人材の育成を目指す人材育成プログラム（CREEN人材育成プログラム）を構想した。

ポストアワード支援

- 本事業により令和4年10月に本学内に設置された地域水産業共創センターの立ち上げ、および運営メンバーとして、本部URA1名がポストアワード支援を実施

サポート例:

- ・地域水産業共創センターの運営サポート
- ・地域水産業共創センター特定専門職員の採用時に、統合URA本部において2週間のURA研修を実施
- ・CREEN人材育成プログラムの実施に向けて、新規に立ち上げた起業家育成演習や水産学演習の構築支援（講師をマッチング・コーディネート）
- ・本事業に関わる水産科学研究所教員の産学連携・外部資金獲得をサポート

函館マリカルチャープロジェクトの概要

プロジェクトの柱

- ▼日本初のキングサーモン完全養殖技術の確立
- ▼生産量日本一のマコブ完全養殖技術の確立
- ▼地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖
- ▼大学改革・人材育成

- 天然資源に頼る漁業からカーボンニュートラルに貢献する新たな養殖産業を構築
- 二次・三次産業（加工・販売・観光・飲食等）とも一体となった強靱で高収益な産業構造を創出
- 地域の高等教育・研究機関が『研究開発と一体化した人材育成システム』を構築
- そこで輩出する人材が地域・産業の成長・発展を促進するエコシステムを形成



**養殖産業
群の形成と
企業・若者
の地域定着**



CREEN人材育成プログラム

- C : Creative & Cooperative : 創造性豊かで協調性のある人材
- R : Realistic : 現実主義で実学を推進できる人材
- E : Entrepreneurial & Energetic : 起業家精神を持ち何事にも挑戦する行動力のある人材
- E : ECO : 環境と経済を両立させることができる人材
- N : Naturalized : 函館を愛し函館に住み続けたい人材

地域カーボンニュートラル：魚類養殖が排出するCO₂を海藻養殖や地域の天然海藻資源が吸収するCO₂でオフセットし、その地域全体で養殖業のカーボンニュートラルを目指すもの



参考URL

- 北海道大学統合URA本部HP <https://u4u.oec.hokudai.ac.jp>
- 地域水産業共創センターHP <https://www2.fish.hokudai.ac.jp/rfc/>
- 函館マリカルチャープロジェクトHP <https://mariculture.marine-hakodate.jp>